

# 放射能(核種)検査報告書

58350

依頼者名: 株式会社 千葉産直サービス 殿

結果報告日: 2011年11月21日

測定日: 2011年11月21日

報告書番号: RIN11EW061C

試料名 : 八甲鴨 ロース肉(青森県) 屠畜日「2011年10月」分

株式会社 同位体研究所  
代表取締役 埴 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 244g×2

## 検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe  $\gamma$  線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	分析対象品目分類		測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本	鶏肉	ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値		ND ND	Bq/kg Bq/kg	1 Bq/kg
放射性セシウム計	日本	鶏肉	ND	Bq/kg	1 Bq/kg

測定値がNDと表記の場合、検出なし(Not Detected)を意味する。

目標定量限界 10 Bq/kg ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は20分間(検体中の核種の存在状態により定量下限は変動する)

## 放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。このため、NaIシンチレーション検出器による併用測定にて1Bq/kgでの検出限界を補完する。Ge半導体 $\gamma$ 線スペクトロメーターで10Bq/kg未満の検出が疑われる場合、またはNaIシンチレーション検出器にて、10 Bq/kg未満 1Bq/kg以上の検出が認められる場合は、 $\gamma$ 線スペクトロメーターによる測定時間を延長(200分)確認測定にて確定

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)